

多田誠司

alto sax , flute

大塚義将

contrabass

2020 04月01日(水)

開場 19:30

開演 20:00~

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3000 円+2drinks order

CAFE BEULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



多田誠司

1960年、香川県高松市生まれ。香川大学付属高松中学、高松高校を通じて吹奏楽部でFluteおよび指揮者を担当する。岡山大学入学と同時にJAZZ研究会に入部。20才の時AltoSaxに転向する。大学卒業後、1988年上京。都内ライブハウスで活動を開始する。1994年10月にはドラムの猪俣猛氏の『Japan Just Jazz All Stars』の一員として国際交流金主催のメキシコ公演に参加、大成功を収める。1996年3月には大西順子(P)QUINTETの一員としてBLUENOTE東京・福岡・大阪の3週間にわたるツアーに参加。Marcus Belgrave(Tp)、Rodney Whitaker(B)らと共演し交流を深める。また1997年5月にもJAZZ WORKSHOPの一員として二年連続でBLUENOTE公演に参加。さらに高い評価を得る。1997年6月、待望の初リーダー作『THE GIG』を東芝EMIより発売。SWINGJOURNAL誌主催、97年度「日本ジャズ賞」部門で第三位に入るなど、各方面より絶賛される。98年4月には来日中のBranford Marsalisがこのアルバムを絶賛し、BLUENOTE東京にて共演するチャンスにも恵まれた。また世界的トランペッター日野皓正に認められ1999年から2009年まで彼のグループにレギュラーメンバーとして参加。2005,2009年には佐藤允彦SAIFAの一員として欧州ツアーに参加するなど海外でも数多く活動する。現在リーダーバンドとしてOaky、Taurus、PhoneBone、スガダイローとのデュオ、松本茜とのデュオ、等。

大塚義将

1986年群馬県出身。13歳からギターを始め、高校入学と共に吹奏楽部でベースを始める。18歳で専修大学進学のため上京。大学のビッグバンドサークルに入部し様々なジャズに触れる。特にベーシストのRay Brownの演奏には強く感銘を受け、Ray Brownの演奏をお手本にしながら独学でジャズを学ぶ。徐々にコンボジャズへの興味も強くなり、2年次に同大学のコンボジャズサークル「MJAブルーコーラル」に入部を決める。MJAブルーコーラルでは、先輩である奥川一臣(P)、紺野智之(Dr)らに指導を受け、ジャズのハーモニー、アンサンブル等多くのことを学ぶ。この経験が、現在の音楽の考え方や演奏スタイルに非常に大きな影響を与え、今なお重要な指針となっている。この頃から、都内のライブハウスなどで演奏活動をするようになる。2010年7月、2011年6月にはジュリアード音楽院ジャズ科の主任教授であるCarl Allen氏と共演。現在も都内や横浜を中心に精力的に演奏活動を行っている。